

田瀬ダム水質対策の取り組み

1. 田瀬ダム貯水池について

田瀬ダム貯水池（田瀬湖）の概要について紹介します。
田瀬湖は、遠野市を流域とする湖沼で、様々なレクリエーションに利用されています。



2. アオコ発生について

田瀬湖では、平成11年以降、夏にアオコの発生が確認されています。
ここでは、アオコが発生するしくみについて紹介しています。
※アオコが増えすぎると、景観が悪化したり、水からにおいを発したりします。



3. 田瀬ダムにおけるアオコ対策

アオコ対策のため、田瀬ダムで平成19年から導入した「散気式曝気装置」について紹介します。



4. 流域における水質改善の取り組み

上流域の遠野市でも、水質改善のため、下水道整備など様々な取り組みを行っています。
その取り組み内容を紹介します。



5. 普段の生活でできる水質改善の取り組み

普段の生活でできる水質改善の取り組みを紹介します。
皆さんの、小さな水質改善への取り組みを積み重ね、田瀬湖をきれいにしましょう。



田瀬ダム貯水池（田瀬湖）鳥瞰



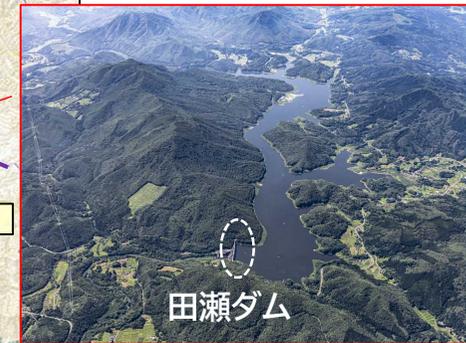
国体等の練習風景



田瀬湖湖水まつりの様子

1. 田瀬ダム貯水池について

- 田瀬ダム貯水池（田瀬湖）は、**岩手県遠野市を流域**とする、広さ6km²の湖沼です。
- 田瀬湖の水は、**かんがい用水**、**発電用水**として利用されているほか、湖面は**ボートや釣り**などの湖面利用が盛んに行われています。



田瀬湖での湖面利用の一例

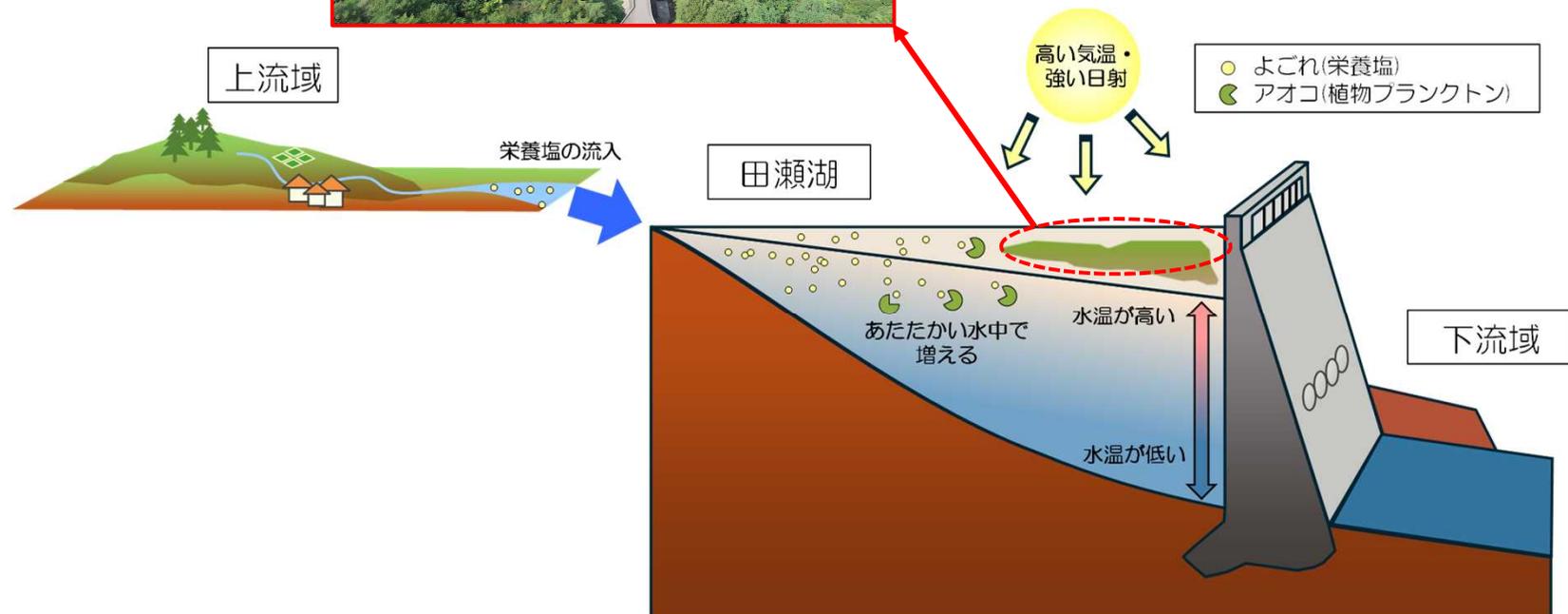
2. アオコ発生について

- 田瀬湖では、夏にアオコの発生が確認されています。
- アオコが増えすぎると、景観が悪化したり、水からにおいを発したりします。
- アオコは、夏に貯水池の水温が高くなると、水中の栄養塩を餌として増えていきます。
- 栄養塩は、上流域から河川を通じて流れてくることで供給されます。

R5.8.30 田瀬ダム付近で発生したアオコ



※「アオコ」とは
池や湖沼の水面が緑色の粉をまいたようになる
現象を「アオコ」と呼ぶ。
水中の植物プランクトンが大量に増殖したものだ。



アオコが発生するしくみ (イメージ)

3. 田瀬ダムにおけるアオコ対策（散気式曝気装置）

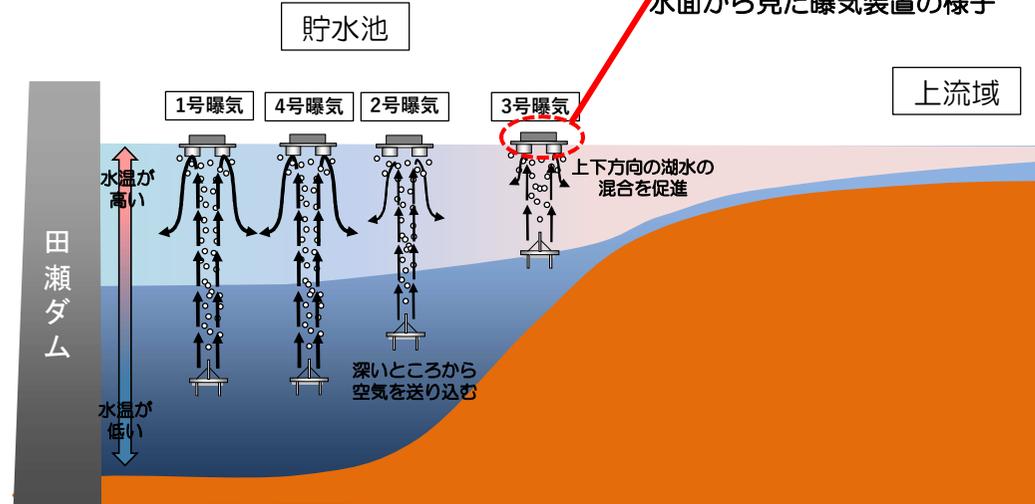
- 田瀬ダムでは、毎年のアオコ対策として、「散気式曝気装置」を運用しています。
- 曝気装置により、水中の深いところから空気を送り込み、湖水が上下方向に混ざりやすくすることで、水温を低下させ、アオコの増殖を抑制します。

曝気装置の位置



曝気装置による
効果のイメージ

← 空気を送ることで
促進される水の流れ



水面から見た曝気装置の様子

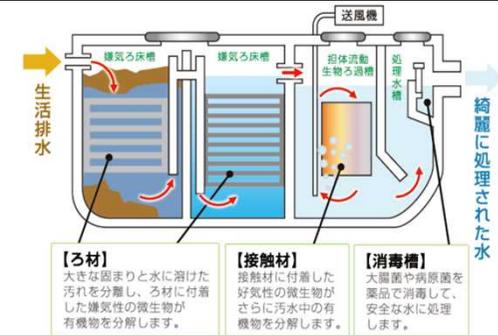
4. 流域における水質改善の取り組み

- 上流域の下水道の整備や森林の維持管理、清掃活動などによって、河川に流れ出る栄養塩を減らすことができます。
- 田瀬湖上流域の遠野市では水質改善のため、以下のような取り組みを行っています。

田瀬湖上流域における水質改善の取り組み



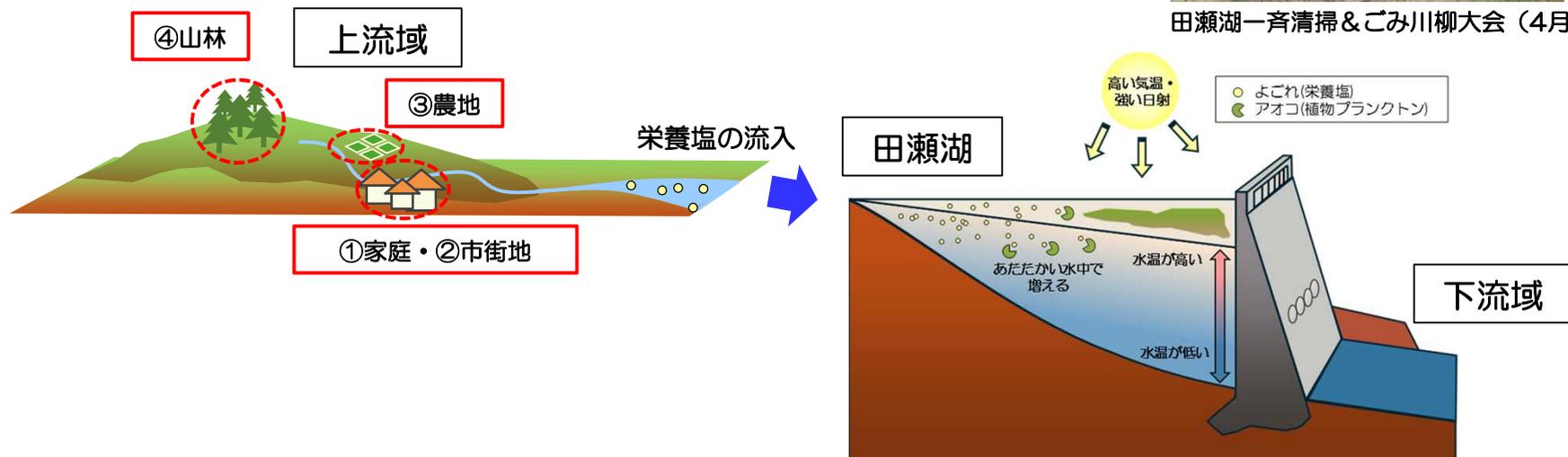
参考：猿ヶ石川流域ビジョン（平成28年度一部改訂、県南広域振興局保健福祉環境部・花巻保健福祉環境センター）
遠野市汚水処理基本計画（令和3年1月改訂、岩手県遠野市）



浄化槽の仕組み (遠野市HPより)



田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会 (4月)



5. 普段の生活でできる水質改善の取り組み

- 以下のような取り組みによって、家庭からの生活排水に含まれる栄養塩を減らし、田瀬湖の水質をきれいに保つ助けとなります。
- **皆さんの、小さな水質改善への取り組みで田瀬湖をきれいにしましょう。**

残飯や生ごみは、細かいものであっても流しに流さず、燃えるごみとして捨てる。



洗剤を使いすぎないように、決められた量をはかって使う（洗濯洗剤も栄養塩を含んでいます）。



トイレにトイレットペーパー以外のものを流さない。



使ったあとの油も、流しに流さないで、燃えるごみとして捨てる。



ゴミや空き缶を川に捨てない。



お風呂の排水溝に髪の毛やごみを流さない。

